

令和 6 年度
教育委員会事務の点検・評価報告書
(点検・評価実施年度：令和 7 年度)

令和 7 年 1 0 月
豊 川 市 教 育 委 員 会

目 次

I	点検・評価の概要	1
1	目的	
2	学識経験者の知見の活用	
3	点検評価委員会設置要綱	
II	教育委員会の活動状況	3
1	教育委員会会議	
2	第3期豊川市教育振興基本計画体系	
III	点検評価	6
1	自己評価の見方	
2	選定事業及び外部評価	
3	評価の結果	
4	自己評価及び目標指標の状況	
5	個別シート	

I. 点検・評価の概要

1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)第26条第1項の規定に基づき、豊川市教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、より効果的な教育行政の推進を目指すとともに、その結果を公表し、市民の皆様への説明責任を果たすことを目的としています。

2 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項の規定により、豊川市教育行政事務点検評価委員会を開催し、3名の学識経験者の方から評価や意見をいただきました。

氏 名	役 職 等
高 本 訓 久	元豊川市教育長
片 桐 早 奈 美	元社会教育委員
加 藤 悦 子	豊川市国際交流協会常務理事

・第1回 点検評価委員会：令和7年 8月 1日（金曜）

議題 令和6年度豊川市教育委員会事務点検・評価報告書について

・第2回 点検評価委員会：令和7年 9月24日（水曜）

議題 点検評価委員の評価及び意見等(案)について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

3 点検評価委員会設置要綱

豊川市教育行政事務点検評価委員会設置要綱

(設置及び目的)

第1条 豊川市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条第1項に規定する教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行うにあたり、同条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、豊川市教育行政事務点検評価委員会（以下「点検評価委員会」という。）を設置する。

(職務)

第2条 点検評価委員会は、毎年、次に掲げる事項について点検するとともに、その成果及び課題を整理して、教育委員会に報告するものとする。

- (1) 教育委員会の基本方針として年度毎に定めた主要施策に関すること。
- (2) 前号に掲げる事項のほか、教育委員会の諸施策や事務事業に関すること。

(組織)

第3条 点検評価委員会は、委員3人以内で組織する。

- 2 委員は、教育に関し学識経験を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は、委嘱した日の属する年度の末日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 点検評価委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、それぞれ委員の互選によってこれを定める。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 点検評価委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

- 2 点検評価委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて、意見を聴取し、又は必要な資料等の提出を求めることができる。

(庶務)

第6条 点検評価委員会の庶務は、教育委員会庶務課において行う。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、点検評価委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年 1月23日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年 4月 1日から施行する。

II. 教育委員会の活動状況

1 教育委員会会議

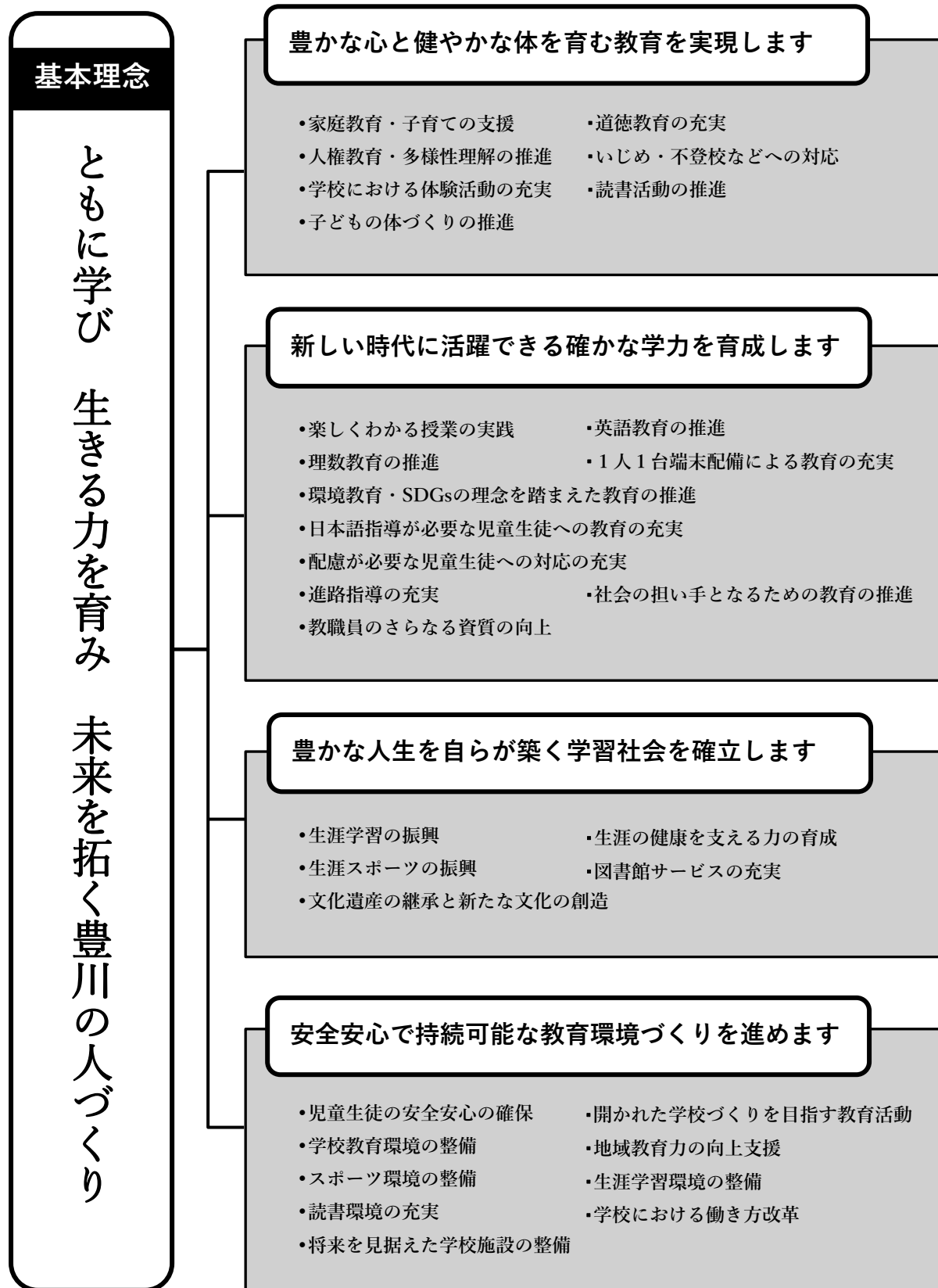
教育委員会会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しており、令和6年度(令和6年4月～令和7年3月)においては、次のとおり会議を開催し、審議を行いました。

開催日	議事内容	
4 月定例会 令和6年4月19日	1	天然記念物の指定解除について
	2	萩小学校の複式編制を回避するための小規模特認校制度導入について
	3	豊川市教育委員会決裁規程の一部改正について
	4	豊川市文化財保存活用地域計画（案）の意見募集結果について
	5	令和5年度教育委員会の組織目標に対する結果及び令和6年度の組織目標について
5 月定例会 令和6年5月31日	1	令和6年度6月補正予算について
	2	豊川市社会教育委員の委嘱について
6 月臨時会 令和6年6月5日	1	教職員の人事に係る内申について
6 月定例会 令和6年6月28日	-	連絡事項のみ（議事なし）
7 月定例会 令和6年7月19日	1	令和7年度使用教科用図書の採択について
	2	令和5年度教育委員会事務の点検・評価に係る自己評価について
	3	豊川市文化財保存活用計画の認定について
8 月定例会 令和6年8月21日	1	令和5年度教育委員会決算について
	2	令和6年度9月補正予算について
	3	萩小学校における小規模特認校制度について
9 月定例会 令和6年9月27日	1	学校法人助成に関する条例の一部改正について
10 月定例会 令和6年10月16日	1	令和7年度教職員定期人事異動方針について
	2	令和5年度教育委員会事務の点検・評価報告書について

11 月定例会 令和6年11月15日	1	令和 6 年度 12 月補正予算について
	2	豊川市史跡公園条例の一部改正について
	3	教育委員会が所管する公の施設に係る指定管理者の指定について
	4	会館施設等の使用料及び手数料の見直しに伴う教育委員会関係条例の整備に関する条例の制定について
	5	令和 7 年度当初予算見積書について
	6	令和 7 年度学校給食材料費の必要額（案）について
12 月定例会 令和6年12月18日	1	市内中学生が逮捕された事件について
2 月定例会 令和7年2月14日	1	令和 7 年度における県民の日学校ホリデーについて
	2	令和 7 年度当初予算について
	3	令和 6 年度 3 月補正予算について
	4	社会教育審議会への諮問事項について
	5	豊川市立小・中学校の水泳授業及びプール施設の在り方に関する基本方針の策定について
	6	第 2 期豊川市スポーツ振興計画の改訂について
	7	令和 7 年度豊川市小規模特認校（萩小学校）の応募状況について
3 月臨時会 令和7年3月10日	1	令和 7 年度教職員の人事異動について
3 月定例会 令和7年3月19日	1	令和 7 年度教育委員会職員の人事異動について
	2	令和 6 年度 3 月補正予算について
	3	豊川市社会教育審議会の答申について
	4	前回議事にかかる報告について

2 第3期豊川市教育振興基本計画体系

令和4年3月に策定した第3期豊川市教育振興基本計画の体系は以下のとおりです。



III. 点検・評価

1 自己評価の見方

第3期豊川市教育振興基本計画に掲げる施策別の主な取組について、主管課において業務点検・評価(自己評価)を行いました。

また、評価結果を踏まえ、今後の方向性を「**拡充**」「**継続**」「**見直し**」「**廃止**」「**完了**」の5段階で記載しています。

施策⑦
配慮が必要な児童生徒への対応の充実

児童生徒が自分の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていくために必要な力を身につけられるよう、必要な配慮や支援を充実していきます。

個別シートの掲載ページ

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》	特別支援教育の充実
2	《学校教育課》	特別支援教育支援員の配置
3	《学校教育課》	学級運営支援員の拡充
4	《学校教育課》	就学援助の実施

自己評価

B	継続
B	継続
B	拡充
C	継続

⇒ 【 P23 】

今後の方向性

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
学級運営支援員の人数 [学校教育課実績より]	79人	89人	95人	102人		94人

目標指数の数値

※アンケート未実施等により、R6 値が不明な場合は「－」としています。

自己評価基準

自己評価	評価内容
A	期待を上回る成果を上げた
B	期待通りの成果を上げた
C	概ね期待通りの成果を上げた
D	あまり成果を上げられなかった
E	成果を上げられなかった

※事業が未実施であった取組については「－」としています。

2 選定事業及び外部評価

計画内に掲げる107事業のうち、令和6年度に実施した106事業から、各課が選定した13事業について、個別シートを作成し、実施内容や今後の課題や見直し点などについて記載しました。

また、学識経験者の方から「**良好**」「**概ね良好**」「**要改善**」のいずれかの評価を受けるとともに、取組全体についての意見等(外部評価)をいただきました。

※個別シートの「今後の展開」区分については、自己評価の「今後の方向性」と共通表現となっています。

3 評価の結果

自己評価結果

A	B	C	D	E	評価対象外	計
0	98	8	0	0	1	107
0.0%	92.5%	7.5%	0.0%	0.0%	—	

今後の方向性

拡充	継続	見直し	廃止	完了	計
6	100	0	0	0	106
5.7%	94.3%	0.0%	0.0%	0.0%	

選定事業及び外部評価

基本目標	事業名	自己評価	外部評価
基本目標 1	臨床心理士などによる教育相談の充実	C	概ね良好
基本目標 2	学級運営支援員の拡充	B	良好
基本目標 3	ジオスペース館を有効活用した学習支援と情報発信	B	良好
基本目標 3	地域とつながる食育の推進	B	良好
基本目標 3	スポーツイベントの開催支援	B	良好
基本目標 3	図書館体験会の実施	B	概ね良好
基本目標 3	文化遺産の保護・活用の環境づくり	B	良好
基本目標 4	部活動の外部講師の活用	B	概ね良好
基本目標 4	老朽校舎などの計画的な整備	B	良好
基本目標 4	学校給食施設の長寿命化と適正な管理	B	良好
基本目標 4	スポーツ施設の整備	B	良好
基本目標 4	生涯学習施設の活用	B	概ね良好
基本目標 4	複式編制回避に向けた小規模校の支援	B	良好

4 自己評価及び目標指標の状況

基本目標1

豊かな心と健やかな体を育む教育を実現します

自己肯定感を高めるとともに、家庭や地域などとの連携の中で自分と他者をともに大切にできる心を育むことや、自分の健康について主体的に考え健康の保持増進の基礎をつちかうことが重要です。

そのため、地域社会との様々な関わりの中で、他者を思いやり自分の行動を見つめ直す活動を充実させるとともに、体力や運動能力の向上に向けた取組を行います。

施策① 家庭教育・子育ての支援

家庭教育や子育てに関する支援・相談や情報提供を実施するとともに、保護者と子どもが家族のつながりを強め、家庭の教育機能が高められるよう、地域との連携による取組を支援していきます。

主な取組と自己評価

1	《生涯学習課》 家庭教育活動の支援	B	継続
2	《生涯学習課》 親子参加の講座などの開催	B	継続
3	《学校教育課》 幼児教育研究会の開催	C	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
「子どもを生み、育てる環境」市民満足度 [豊川市市民意識調査より]	50.2%	—	57.2%	—		60.0%

施策② 道徳教育の充実

児童生徒が社会生活に必要な常識やマナーを身につけ、豊かな心を育めるよう、家庭や地域との連携、協力体制を構築するとともに、「特別の教科道徳」を核として、学校の教育活動全体において道徳教育を充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 「特別の教科道徳」を核にした道徳教育の推進	B	継続
2	《学校教育課》 家庭・地域・学校の連携による開かれた道徳教育の推進	B	継続
3	《学校教育課》 体験活動を通じた道徳性の育成	B	継続

施策③ 人権教育・多様性理解の推進

性別や障害の有無、社会的出身や国籍、人種や民族などによって、差別的な取り扱いを受けることがないよう、一人ひとりの個性と文化を尊重し、多様性を認め合う人権教育を推進していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 豊川市小中学校人権教育研究会の充実	B	継続
2	《学校教育課》 教育活動全体を通して行う人権教育・多様性理解の推進	B	継続
3	《学校教育課》 人権に関する講座・研修会への教職員の参加	B	継続

施策④ いじめ・不登校などへの対応

学校や家庭、関係機関で連携し、いじめ・不登校などの未然防止や早期発見、早期対応のための取組を強化していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 早期発見・早期対応に向けた取組の推進	B	拡充
2	《学校教育課》 臨床心理士などによる教育相談の充実 ⇒ 【P22】	C	拡充
3	《学校教育課》 豊川市不登校対策委員会の取組の推進	B	継続
4	《学校教育課》 適応指導教室「さくらんぼ」における支援	B	継続

施策⑤ 学校における体験活動の充実

児童生徒が生きる力や豊かな心を育むとともに、表現力や創造力を高められるよう、学校における体験活動の機会を充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 異年齢との交流活動の実施	B	継続
2	《学校教育課》 人や社会との関わり方を考える体験活動の実施	B	継続
3	《学校教育課》 文化的行事・宿泊的行事の実施	B	継続
4	《学校教育課》 ふるさと教育の推進	B	継続

施策②～⑤の目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
学校生活が楽しく充実していたと自己評価した児童生徒の割合 [学校教育課アンケートより]	75.9%	76.7%	77.6%	86.0%		78.0%

施策⑥ 読書活動の推進

あらゆる方法や場所を活用し、子どもたちが進んで本を読む習慣、本を通じて物事を調べる習慣を身につけられるよう、様々な読書活動を推進していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 読書活動の実施	C	継続
2	《学校教育課》 学校図書館巡回司書の配置	B	継続
3	《中央図書館》 「マイブックプロジェクト」の推進	B	継続
4	《中央図書館》 子ども読書活動の推進	B	継続
5	《中央図書館》 「うち読」の普及・啓発の推進	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
「読書好き」な子どもの割合 [中央図書館アンケートより]	61.1%	—	—	—		65.0%

施策⑦ 子どもの体づくりの推進

子どもたちが体を動かす楽しさを実感したり、食について関心を持ったりすることに加え、健康の大切さを学ぶ機会を推進していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 学校体育の充実	B	継続
2	《スポーツ課 生涯学習課》 地域における子どものスポーツ活動への支援	B	継続
3	《学校教育課》 生活習慣病予防の推進	B	継続
4	《学校給食課 学校教育課》 食に関する指導の充実	B	継続
5	《学校教育課》 学校保健の充実	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
運動が好きな児童生徒の割合 [庶務課アンケートより]	[小6] 63.1% [中2] 60.8%	—	—	—		[小6] 65.6% [中2] 63.3%
目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
朝食を食べない児童生徒の割合 [学校給食課アンケートより]	[小5] 2.4% [中2] 7.8%	[小5] 2.1% [中2] 6.0%	[小5] 1.3% [中2] 8.1%	[小5] 3.4% [中2] 4.7%		[小5] 0% [中2] 0%

新しい時代に活躍できる確かな学力を育成します

超スマート社会（Society 5.0）の到来や、グローバル化が一層進展する中、子どもたちが新たな時代の担い手として、変化を前向きに受け止め、予測困難な時代を自立的に生きていく資質・能力を育んでいくことが重要です。

そのため、多様な教育課題へのきめ細かな対応を進め、子どもたち一人ひとりの状況や適性に応じた教育を行います。

施策① 楽しくわかる授業の実践

児童生徒が主体的な学習活動により基礎的な知識や技能を確実に身につけられるよう、楽しくわかる授業を実践していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 主体的・対話的で深い学びの推進	B	継続
2	《学校教育課》 きめ細かな指導の推進	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
学習に意欲的に取り組んだと自己評価した児童生徒の割合 [学校教育課アンケートより]	60.0%	62.7%	63.4%	71.1%		68.0%

施策② 英語教育の推進

児童生徒が積極的に英語で話す姿勢を育ていけるよう、英語によるコミュニケーションの機会を充実させた英語教育を推進していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 英語指導助手の配置	B	継続
2	《学校教育課》 英語力向上へ向けた活動の推進	C	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
AETの先生と楽しく英語を使った活動ができた児童生徒の割合 [学校教育課アンケートより]	[小6] 61.9% [中3] 61.9%	[小6] 61.9% [中3] 59.0%	[小6] 62.0% [中3] 59.0%	[小6] 69.2% [中3] 68.9%		[小6] 64.4% [中3] 64.4%

施策③ 理数教育の推進

児童生徒が科学技術の素晴らしさを実感し、科学的な見方や考え方を楽しみながら身につけ、創造力を高められるような理数教育を推進していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》	理数教科への関心を高める授業の実施	B	継続
2	《学校教育課》	理科教育支援員の配置	B	継続
3	《生涯学習課》	子どもものづくり教室の支援	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
理科を好きな児童生徒の割合 [庶務課アンケートより]	[小6] 36.6% [中2] 29.0%	—	—	—		[小6] 39.1% [中2] 31.5%
目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
算数（数学）を好きな児童生徒の割合 [庶務課アンケートより]	[小6] 40.2% [中2] 22.2%	—	—	—		[小6] 42.7% [中2] 24.7%

施策④ 1人1台端末配備による教育の充実

児童生徒がICT機器や情報を活用する能力を身につけることに加え、適切に情報を取り扱う方法を学べるような情報教育を充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》	I C Tの活用による個別最適な学びと協働学習の推進	B	継続
2	《学校教育課》	デジタル教科書・教材を活用した授業の実施	B	継続
3	《生涯学習課》 学校教育課	情報モラル教育の推進	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
ICT機器を活用した学習指導に取り組む学校の割合	[小学]	[小学]	[小学]	[小学]		[小学]
①教職員と児童生徒のやりとりで活用	①12.0%	①76.9%	①100%	①100%		①100%
②児童生徒同士のやりとりで活用	②4.0%	②76.9%	②96.1%	②100%		②100%
③児童生徒が一人で活用	③60.0%	③—	③—	③—		③100%
[全国学力・学習状況調査より]	[中学]	[中学]	[中学]	[中学]		[中学]
	①0%	①80.0%	①100%	①100%		①100%
	②0%	②60.0%	②100%	②100%		②100%
	③0%	③—	③—	③—		③100%

施策⑤ 環境教育・SDGsの理念を踏まえた教育の推進

児童生徒の環境保全に対する意識を高めるとともに、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包括性のある社会の実現に向けて、SDGsの理念を踏まえた学習活動を推進していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》	身近な地域の環境を守る環境学習	B	継続
2	《学校教育課》	SDGsの理念を取り入れた学習活動の推進	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
ESDの視点に立った学習活動に取り組む学校の割合 [学校教育課調査より]	[小学] 100% [中学] 100%	[小学]100% [中学]100%	[小学]100% [中学]100%	[小学]100% [中学]100%		[小学] 100% [中学] 100%

施策⑥ 日本語指導が必要な児童生徒への教育の充実

外国人の児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、日本語の初期指導を重視し、学年や能力に合わせた段階的・系統的な教育を充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》	日本語指導が必要な児童生徒への日本語教育の実施	B	継続
2	《学校教育課》	日本語指導助手の配置	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
日本語指導助手の人数 [学校教育課実績より]	11人	11人	12人	12人		12人

施策⑦ 配慮が必要な児童生徒への対応の充実

児童生徒が自分の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていくために必要な力を身につけられるよう、必要な配慮や支援を充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》	特別支援教育の充実	B	継続
2	《学校教育課》	特別支援教育支援員の配置	B	継続
3	《学校教育課》	学級運営支援員の拡充 ⇒ 【P23】	B	拡充
4	《学校教育課》	就学援助の実施	C	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
学級運営支援員の人数 [学校教育課実績より]	79人	89人	95人	102人		94人

施策⑧ 進路指導の充実

児童生徒の一人ひとりのニーズに対応できる指導体制を築くとともに、学校や家庭だけでなく、地元高校生や地域企業と連携した進路指導を充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》	キャリアパスポートを活用したキャリア教育の実施	B	継続
2	《学校教育課》	働くことの意義を体感する職場体験学習の実施	B	継続
3	《学校教育課》	地元高校生・地域企業との連携強化	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
将来の夢や目標がある児童生徒の割合	[小学]80.0%	[小学]79.5%	[小学]79.8%	[小学]82.6%		[小学] 90.0%
[全国学力・学習状況調査より]	[中学]63.7%	[中学]65.3%	[中学]63.3%	[中学]63.0%		[中学] 73.7%

施策⑨ 社会の担い手となるための教育の推進

多様な観点からのニーズに対応した学習機会の提供を行い、児童生徒が社会の担い手となるための教育を推進していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》	主権者教育の推進	B	継続
2	《学校教育課》	小学校プログラミング教育の実施	B	継続
3	《学校教育課》	科学や技術に興味をもつ児童生徒の育成	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている児童生徒の割合 [全国学力・学習状況調査より]	[小学]48.0%	[小学]47.3%	[小学]76.9%	[小学]84.2%		[小学] 58.0%
	[中学]37.9%	[中学]33.2%	[中学]58.0%	[中学]72.9%		[中学] 47.9%

施策⑩ 教職員のさらなる資質の向上

教職員のさらなる資質の向上を支援するため、経験年齢や課題などに応じた効果的な研修を計画的に進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》	教職員研修の充実	C	継続
2	《学校教育課》	教職員国内研修派遣の実施	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
各種研修に参加した教職員数	約500人	1,490人	1,451人	1,334人		約1,700人
[学校教育課実績より]						

豊かな人生を自らが築く学習社会を確立します

人口減少や少子高齢化が進行していく中、人生100年時代を迎えようとしています。その中で、ライフステージに応じた学習機会の確保や学習成果の地域への還元が課題です。

そのため、すべての人々が生涯にわたって学び、活躍できるように、学習活動や文化・芸術・スポーツ活動などに参加するきっかけづくりを支援します。

施策① 生涯学習の振興

多くの市民が生涯にわたる学習活動に親しみ、生きがいを持って心豊かに暮らしていけるよう、主体的な生涯学習活動を支援していきます。

主な取組と自己評価

1	《生涯学習課》	多様なニーズに対応した学習メニューの展開	B	継続
2	《生涯学習課》	学びを広げる学習情報・学習機会の充実	B	継続
3	《生涯学習課》	学習成果の発表・活用による人材育成	B	継続
4	《生涯学習課》	学習成果が生きるまちづくりの支援	B	継続
5	《中央図書館》	ジオスペース館を有効活用した学習支援と情報発信	⇒ 【P24】 B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
生涯学習活動を行っている市民の割合 [豊川市市民意識調査より]	58.1%	—	58.6%	—		65.0%
目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
プラネタリウムの入場者数 [中央図書館実績より]	5,000人	8,823人	10,693人	12,265人		13,000人

施策② 生涯の健康を支える力の育成

子どもから大人まですべての市民が、病気の予防や食育に関心を持って健やかに暮らせるよう、生涯にわたって健康を支える力の育成を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《学校給食課》	地域とつながる食育の推進	⇒ 【P25】	B	拡充
2	《学校教育課》	喫煙・飲酒・薬物乱用の防止		B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている市民の割合 [豊川市市民意識調査より]	49.1%	—	50.5%	—		50.0%

施策③ 生涯スポーツの振興

多くの市民がスポーツを楽しみ、健康的で活力のある生活を送ることができるよう、生涯スポーツを振興させる取組を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《スポーツ課》	地域スポーツの推進		B	継続
2	《スポーツ課》	スポーツイベントの開催支援	⇒ 【P26】	B	継続
3	《スポーツ課》	スポーツ選手・団体への活動支援		B	継続
4	《スポーツ課》	トップレベルに触れる機会の充実		B	継続
5	《スポーツ課》	スポーツツーリズムの推進	令和5年度より商工観光課へ移管しました		

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
週1回以上スポーツや運動をしている市民の割合 [豊川市市民意識調査より]	49.9%	—	47.8%	—		57.0%

施策④ 図書館サービスの充実

多くの市民が図書館に関心を持ち、有効に活用できるよう、図書館サービスを充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《中央図書館》	図書館資料の充実		B	継続
2	《中央図書館》	コラボ展示・コラボイベントの実施		B	継続
3	《中央図書館》	電子図書館サービスの充実		B	継続
4	《中央図書館》	図書館体験会の実施	⇒ 【P27】	B	継続
5	《中央図書館》	「図書館まつり」や「図書館検定」などのイベントの実施		B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
市民1人当たりの図書等貸出冊数 [中央図書館実績より]	5.0冊	5.7冊	5.6冊	5.7冊		7.1冊
目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
電子書籍の利用回数 [中央図書館実績より]	24,252冊	19,186冊	17,690冊	19,831冊		25,000冊

施策⑤ 文化遺産の継承と新たな文化の創造

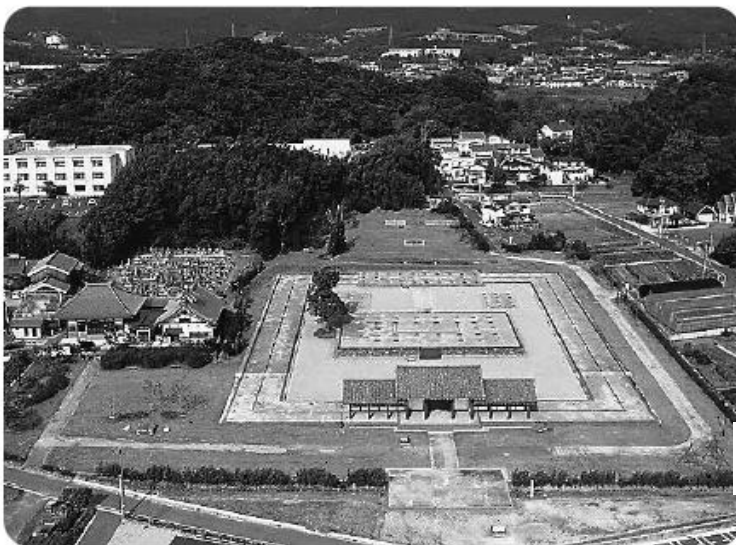
多くの市民が地域の伝統的な文化を尊重するとともに、新しい文化を生み出せるよう、身近な文化芸術活動を支援していきます。

主な取組と自己評価

1	《生涯学習課》	文化遺産の保護・活用の環境づくり	⇒ 【P28】	B	継続
2	《生涯学習課》	文化遺産継承の取組の推進		B	継続
3	《生涯学習課》 《学校教育課》	平和学習の推進		B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
文化財保護の推進に満足している市民の割合 [庶務課アンケートより]	27.3%	—	—	—		29.8%



三河国分尼寺跡史跡公園



豊川海軍工廠平和公園（第一火薬庫）

安全安心で持続可能な教育環境づくりを進めます

社会や経済の情勢は大きく変化し、教育に求められるニーズが日々、多様化・複雑化する中、学校教育環境を充実させるとともに、あらゆる世代の人々がスポーツや生涯学習、読書などに親しむ環境を整備することが求められています。

そのため、学校をはじめとした教育環境を充実させ、魅力ある取組を展開していくとともに、次世代を担う子どもたちのため、安全安心に学べる教育環境を将来にわたって確保します。

施策① 児童生徒の安全安心の確保

児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、また、保護者が安心して子どもを託すことができるよう、家庭や地域、警察などの関係機関と連携しながら、学校教育の安全安心を確保していきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》 防災教育の推進、教職員の防災意識の向上	B	継続
2	《学校教育課》 交通安全教育の推進	B	継続
3	《学校教育課》 通学路の安全管理への取組	B	継続
4	《学校教育課》 学校安全緊急情報共有化広域ネットワークの活用	B	継続
5	《庶務課》 防犯・防災設備の充実	B	継続
6	《学校給食課》 学校給食における衛生・安全管理の徹底	B	継続
7	《学校教育課》 学校生活における新しい生活様式の実施による感染防止意識の向上	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
児童生徒の安心安全の確保に満足している市民の割合 [庶務課アンケートより]	44.6%	—	—	—		47.1%
目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
「学校給食」児童生徒満足度 [学校給食課アンケートより]	61.2%	66.2%	68.5%	71.2%		70.0%

施策② 開かれた学校づくりを目指す教育活動

学校と保護者、地域がともに学びながらそれぞれの役割を果たし、連携して児童生徒の成長を支えていくよう、開かれた学校づくりを目指した教育活動を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課》	特色ある学校づくりの推進	B	継続
2	《学校教育課》	開かれた学校づくり	B	継続
3	《学校教育課》	学校からの情報発信	B	継続
4	《庶務課》	学校サポーターによる学校支援	B	継続
5	《学校教育課》	学校評価の公表	B	継続
6	《学校教育課》	部活動の外部講師の活用 ⇒ 【P29】	B	拡充

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
「学校とかかわりを持っていきたい」と思っている市民の割合 [豊川市市民意識調査より]	49.2%	—	48.3%	—		49.3%
目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
学校サポーター登録者数 [庶務課実績より]	699人	742人	777人	783人		750人

施策③ 学校教育環境の整備

児童生徒が楽しく充実した学校生活を送れるよう、学校教育環境の整備を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《庶務課》	老朽校舎などの計画的な整備 ⇒ 【P30】	B	継続
2	《庶務課》	学習環境の整備	B	継続
3	《庶務課》 《学校教育課》	教育用ＩＣＴ機器などの適正な運用管理	B	継続
4	《庶務課》	学校図書の充実	B	継続
5	《学校給食課》	学校給食施設の長寿命化と適正な管理 ⇒ 【P31】	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
学校教育環境などの整備・充実に満足している市民の割合 [庶務課アンケートより]	31.5%	—	—	—		34.0%
目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
屋内運動場トイレの洋式化率 [庶務課実績より]	14.1%	14.1%	49.3%	69.6%		100%

施策④ 地域教育力の向上支援

子どもや若者が地域の中で、様々な体験を通じて生き生きと成長していけるよう、地域教育力の向上を支援していきます。

主な取組と自己評価

1	《生涯学習課》 地域人材の活用による交流活動や体験活動などの充実	B	継続
2	《生涯学習課》 子ども・若者への各種支援	B	拡充

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
「青少年の育成・支援」市民満足度 [豊川市市民意識調査より]	29.6%	—	32.6%	—		32.0%
目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
少年愛護センターにおける相談支援件数 [生涯学習課実績より]	204件	310件	285件	326件		450件

施策⑤ スポーツ環境の整備

多くの市民が安心してスポーツやレクリエーション活動に親しめるよう、スポーツ環境の整備を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《スポーツ課》 スポーツ施設の整備 ⇒ 【P32】	B	継続
2	《スポーツ課》 スポーツ施設の適正な管理運営	B	継続
3	《スポーツ課》 学校施設の開放推進	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
スポーツ施設の利用者数 [スポーツ課実績より]	664,203人	1,096,591人	1,316,275人	1,066,141人		1,240,000人
目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
学校体育施設開放の利用者数 [スポーツ課実績より]	251,815人	324,322人	343,154人	355,447人		445,000人

施策⑥ 生涯学習環境の整備

多くの市民が身近な場所で、内容の充実した生涯学習に親しめるよう、生涯学習環境の整備を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《生涯学習課》 生涯学習施設の活用 ⇒ 【P33】	B	継続
2	《生涯学習課》 高等教育機関との連携	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
生涯学習センターの利用者数 [生涯学習課実績より]	136,149人	199,763人	217,542人	215,695人		245,000人

施策⑦ 読書環境の充実

多くの市民が気軽に本を手に取り、進んで読書に親しめるよう、図書館を拠点とする読書環境を充実していきます。

主な取組と自己評価

1	《中央図書館》	図書館と学校などとの連携強化の推進	B	継続
2	《中央図書館》	図書館施設などの整備	B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
図書館の来館者数 [中央図書館実績より]	585,052人	587,301人	625,383人	661,232人		631,000人

施策⑧ 学校における働き方改革

児童生徒のためにも、教職員が心身ともに健康な状態で、教育活動に専念できるよう、学校における働き方改革を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《学校教育課 庶務課》	I C T 機器・校務支援システムの有効活用	B	継続
2	《学校教育課 庶務課》	専門スタッフ・地域人材などとの連携・分担による業務の削減	B	継続
3	《学校教育課 スポーツ課》 生涯学習課	休日部活動の地域移行への検討	C	継続
4	《学校教育課》	文化事業の開催方法などの見直し	B	継続
5	《学校教育課》	教職員のメンタルヘルス維持への取組	C	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R3)	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
時間外在校等時間が月45時間以内の教職員数の割合 [学校教育課調査より]	47.7%	39.5%	65.9%	67.1%		100%

施策⑨ 将来を見据えた学校施設の整備

将来にわたって子どもたちの「生きる力」を育むことができるよう、施設の整備を進めていきます。

主な取組と自己評価

1	《庶務課》	複式編制回避に向けた小規模校の支援	⇒ 【 P34 】	B	継続
2	《庶務課》	35人学級への対応		B	継続

目標指数

目標指数の内容	参考値(R2)	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
35人学級実施への対応率 [庶務課実績より]	100%	100%	100%	100%		100%

2

臨床心理士などによる教育相談の充実

【学校教育課】

不安や悩みを抱える幼児、子どもへのより良い対応を図るため、臨床心理士が、こころの相談室「ゆずりは」において、保護者への教育相談にあたりるとともに、小中学校や保育園への巡回相談などを行います。また、小学校に「ハートフル相談員」を巡回させ、相談活動の充実に取り組むとともに、スクールソーシャルワーカーを活用した相談体制の整備を進めます。（総合計画実施計画事業）

令和 6 年度決算額 33,528 千円

実施状況と成果

自己評価：C

心理教育相談「ゆずりは」の運営 令和 6 年度決算額 25,816 千円

- 市内 3 か所の相談室に 5 名の臨床心理士を配置し、保護者への教育相談にあたりるとともに、小中学校からの依頼に応じて巡回相談を実施した。令和 6 年度の心理教育相談の件数は1,798件だった。
- 最も相談が多かった不登校及び不登校傾向に対しては、「さくらんぼ」への登校や各学校のサポートルームへ繋ぐなど幅広い支援を行った。また、学校に適應することが困難な児童生徒とその保護者、それらに対応する教員への心理的アプローチを行うとともに、必要に応じて児童生徒に発達検査（WISC）を行い特性を分析することで、当事者の精神的安定に資することができた。

スクールソーシャルワーカーの配置 令和 6 年度決算額 7,712 千円

- 令和 6 年度は、南部中学校と小坂井中学校の 2 中学校を拠点とし、2 名のスクールソーシャルワーカーによる相談活動を実施した。当該中学校区以外にも、要請があれば学校や家庭に出向き面談を行い、校内でケース会議を実施して支援方法を検討、さらに必要に応じて関係機関と連携しながら対応を行った。
- スクールソーシャルワーカーが 2 名体制になったことで、難しい案件に対しても丁寧に対応することができるようになった。

【令和6年度の相談回数】

小学校	中学校
165回	109回

ハートフル相談員の配置 令和 6 年度決算額 1,608 千円

- 民間資格を有するハートフル相談員を 3 名配置し、学校規模が大きい小学校や、いじめ・不登校件数が多い小学校を中心に相談活動を行った。
- 学校生活の様子を観察し、状況に応じて保護者や教職員にも聞き取りを行いながら丁寧に相談に乗ることで、児童に対して「何でも聞いてくれる相手がいる」という安心感を与えることができた。

自己評価と今後の展開

- 拡 充

□ 継 続

□ 見直し

□ 廃 止

□ 完 了
- 臨床心理士やスクールソーシャルワーカーなどによる相談体制の充実、関係機関と連携など、児童生徒及び保護者の心身の安定を図ることを第一に、今後も教育相談の充実を図っていく。
- 今後も教育分野・社会福祉等の専門的な知識・技術を有する人材を追加配置する予定だが、人材難で雇用が大変困難と予想される。全力で人材確保に取り組んでいきたい。

点検評価委員の評価及び意見等	☐ 良好	☒ 概ね良好	☐ 要改善
不登校児童・生徒への対応や保護者、教職員への助言等、教育相談は非常に重要で大きな課題である。こどもが安心してタイムリーに相談できる環境を整えるため、ソーシャルワーカーの配置、市内外の専門機関や関係部署との連携・調整に努めてもらいたい。			

3

学級運営支援員の拡充

【学校教育課】

安定した学級運営を支えるため、個別の支援を必要とする児童生徒がいる学級への学級運営支援員を増員し、個別的な指導やチームティーチング指導を実施します。

令和6年度決算額 94,559 千円

実施状況と成果

自己評価：B

学級運営支援員の拡充

- 令和6年度の学級支援員は5名配置、個別支援員は4月に小学校26校に2名ずつ配置したことで、学級の安定したスタートにつなげることができた。その後、6月配置に向けて要望を聞き取り、99学級の配置希望に対し、30学級に配置ができた。2学期以降は、学校からの要望や人材の確保によりさらに15名の配置を行うことができ、計102名の配置となった。
- 学校からの要望を受けて学級運営支援員を配置しているが、派遣された学校からは、「発達障害のある児童生徒が落ち着いて授業を受けることができたようになった」、「学級全体が落ち着いて授業を受けることができたようになった」などの報告があった。

【学級運営支援員の配置要望数】			(人)
R4	R5	R6	
176学級	208学級	150学級	

自己評価と今後の展開

- ☒ 拡充

支援員の4月任用拡充により、学級が上手くスタートできた学校が増えた。発達障害の児童だけでなく、学級の他の児童の安定にもつながっているために事業効果は高く、配置している現場の教諭からは数多くの感謝の言葉を伝えられている。
- ☐ 継続
- ☐ 見直し
- ☐ 廃止

今後は雇用時間の問題から、人員の確保が重要となる。
- ☐ 完了

点検評価委員の評価及び意見等

☒ 良好☐ 概ね良好☐ 要改善

4月配置の支援員を増やしたことで、スタート時の学級運営がスムーズに行われたことを評価する。児童・生徒のみならず、担任や保護者にとってもありがたい取組だと思う。人員の確保も大変だと思うが、引き続き任用拡充に力を入れてほしい。

5 ジオスペース館を有効活用した学習支援と情報発信【中央図書館】

市民の天文への関心を高め、宇宙に関する学習活動を支援するためのプラネタリウム番組を上映します。また、プラネタリウムの有効活用を図るため、施設の貸館の促進、市の各部署や関係団体とのコラボイベントの実施や、PR 動画などを投影し情報発信を行います。（総合計画実施計画事業）

令和 6 年度決算額 2,420 千円

実施状況と成果 自己評価：B

プラネタリウム有効活用事業

- 人気のあるキャラクターが登場する子供向け新番組の制作を行ったり、上映プログラム内にオリジナル作品（季節に応じた七夕物語・竹取物語等）を組み込むなど、子供も大人も楽しめる工夫を行った。特に、通常は撮影禁止のプラネタリウムドーム内を特別に撮影できる「プラネタリウム星空撮影会」は、参加者から好評だった。
- 市内小学校 4 年生対象のプラネタリウム学習事業、保育園・幼稚園年長対象のプラネタリウム送迎事業を実施し、児童や生徒に対する学習支援に取り組むことができた。
- プラネタリウム上映前の時間を利用し、地元プロバスケットボールチームや他部署からのPR動画を上映し、他事業や地域との連携を図った。

【プラネタリウムの入場者数】 (人)		
R4	R5	R6
8,823人	10,693人	12,265人

自己評価と今後の展開

- ☐ 拡 充
- ☒ 継 続
- ☐ 見直し
- ☐ 廃 止
- ☐ 完 了
- 令和 6 年度は、新番組の制作やミニイベント等の企画の実施により、入場者数を増やすことができた。今後も集客の維持、増加のため、イベントの企画や定額制番組導入を含めた番組選定方法の検討を行っていく。また、他事業との連携も継続して行う。

点検評価委員の評価及び意見等

☒ 良好 ☐ 概ね良好 ☐ 要改善

ジオスペース館を上手に活用した様々なイベントを企画し、魅力発信に力を入れ来場者数の増加につながった点を評価する。今後も子どもから大人まで幅広い世代の意見を聞きながら、誰もが楽しめる企画を考案するとともに、イベントのPR活動にも力を入れていただきたい。

1

地域とつながる食育の推進

【学校給食課】

児童生徒が地域食材の生産、流通への理解を深めながら「食」への関心を高められるよう、学校給食において「豊川産〇〇の日」の実施や地元産農産物の積極的使用など地産地消を推進します。また、児童生徒の参加による「地場産物を使用した学校給食献立コンクール」の開催を通じて、家庭での食育につながる取組を進めます。

令和 6 年度決算額 下記のとおり

実施状況と成果

自己評価：B

「豊川産〇〇の日」のイベント給食の実施等による地産地消の推進

- 「豊川産〇〇の日」のイベント給食は28回（10品目）実施した。
- 令和 7 年 1 月の「全国学校給食週間」には、学校給食献立コンクールの優秀作品を提供した。また、6 月には天王小学校にグリーンアスパラガスの生産者を招き、栽培方法やおいしく食べる方法などのお話をいただき、一緒に会食することで生産者との交流を図るとともに、地元産農産物についての理解を深める給食を実施した。

地場産物を使用した学校給食献立コンクールの開催

令和 6 年度決算額

161 千円

- 令和 6 年度も多くの作品の応募があった。第一次審査（書類審査）、第二次審査（試食審査）の結果、最優秀賞 1 作品、優秀作品 3 作品、入選10作品と、特別賞（アイデア賞・ネーミング賞等）40作品の合計54作品を表彰した。
- 優秀賞の作品レシピなどは、豊川市中央図書館にて図書館コラボ展示を実施するとともに学校給食課のホームページに掲載した。また令和 5 年度からイオンモール豊川でも優秀作品のレシピ等を掲示している。
- 優秀賞の 4 作品については 1 月の全国学校給食週間の献立として採用した。

自己評価と今後の展開

- 拡 充

□ 継 続

□ 見直し

□ 廃 止

□ 完 了
- 地産地消の推進を図る事業として生産農家を学校に招き会食会を実施することにより地場産物に対する理解を深めることができた。今後は、より多くの児童に理解を深めることができるよう令和7年度以降実施回数を年 1 回から年 2 回に増やす予定としている。
- また、平成16年度より実施している地場産物を使用した「学校給食献立コンクール」を継続的に実施する。

点検評価委員の評価及び意見等	■ 良好	□ 概ね良好	□ 要改善
アンケート結果からみる基本的な生活リズムの乱れや、朝食をとらない子どもの割合など、食に対する課題に対し、様々な工夫をしながら取り組んでいる努力を感じる。子どもたちが「食」に関心を持ち、自分の住む地域の特色を「食」から学ぶことは非常に素晴らしいことである。今後の事業拡大に期待する。			

2

スポーツイベントの開催支援

【スポーツ課】

豊川リレーマラソンやトヨカワシティマラソン大会においてゲストランナーを招聘するなどし、交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげていくためにスポーツイベントの開催支援を行います。（総合計画実施計画事業）

令和6年度決算額 下記のとおり

実施状況と成果

自己評価：B

スポーツイベントの開催支援事業（実）

- 豊川リレーマラソンやトヨカワシティマラソン大会において、著名なゲストランナーの招聘等、大会の魅力向上を図ることで、市内外から多くの参加者が集まった。
- ボランティア協力を募集することで、市民のイベントへの関わり方を創出するとともに、安心安全な大会運営につながった。
- 会場周辺でのブース出展の充実に努め、更なる賑わい創出や地域経済の活性化を行うことができた。

		令和6年度決算額		
		3,139 千円		
		【スポーツイベントの開催支援】		
		(人)		
		R4	R5	R6
リレーマラソン	当日参加者	2,169	2,782	3,300
	ボランティア	57	71	111
シティマラソン	当日参加者	1,400	1,659	1,999
	ボランティア	359	290	233

自己評価と今後の展開

- ☐ 拡 充
- 令和6年度は、豊川リレーマラソンにおいて3,300名、トヨカワシティマラソン大会において1,999名の参加となり、両スポーツイベントとも著名なゲストランナーを招聘し、賑わいのあるスポーツイベントを開催することができた。
- ☒ 継 続
- 今後も著名なゲストランナーの招聘とボランティア協力の募集を図ることで、さらなる交流人口の拡大を図っていく。
- ☐ 見直し
-
- ☐ 廃 止
-
- ☐ 完 了
-

点検評価委員の評価及び意見等	■ 良好	□ 概ね良好	□ 要改善
新型コロナ等の影響で低下しつつあったスポーツイベントへの興味・関心及び参加意欲が徐々に回復してきたことを喜ばしく思うとともに、そこに至るまでの努力を評価する。環境整備やイベント内容の充実等、市民に楽しんでもらえるイベントとしてさらに盛り上がっていくことを期待する。			

4

図書館体験会の実施

【中央図書館】

市内の小中学生を対象として、図書館の利用方法やマナーのほか、本を実際に読むことや本の検索の仕方などの体験会を実施します。

令和 6 年度決算額 —

実施状況と成果

自己評価：B

図書館体験会事業

- 小学校 4 年生の児童がプラネタリウム見学に来る機会を利用し、5 校152名を対象に体験会を実施した。
- 図書館の使い方やマナーを説明するとともに、本の分類やラベルの見方の解説、検索機の使い方体験などを実施した。また、日ごろ見ることのできない地下書庫見学を実施し、図書館の蔵書管理や蔵書数について説明した。体験会中には図書館に関する〇×クイズを行うなど、楽しみながら図書館に関する知識を深めることができるよう工夫した。
- 児童からのお礼の手紙に、「図書館をまた利用したい」との意見が多数あった。

図書館出前講座

- 小学校や児童クラブ、民生委員主催の会などを対象に出前講座を 6 回実施、市内小学生293名が参加した。
- 「司書の宅配便」と題したチラシを図書主任会で配布するとともに、「豊川市生涯学習まちづくり出前講座」に小中学生向けメニュー 6 種類を掲載し周知を行った。
- 図書館の利用方法の説明や、読み聞かせ、ことば遊びを使った絵本の紹介などを取り入れながら、司書業務の説明や読書の楽しさについて説明し、学習支援を行った。
- 受講した児童から「講座で紹介してもらった本を読みたい」との意見が多くあった。



自己評価と今後の展開

- ☐ 拡 充

学校や申し込み団体と打ち合わせをしながら、要望に沿った内容を開催することができた。
- ☒ 継 続

実施後の手紙からも、読書への関心が高まった旨の感想が多く見られた。出前講座は複数回受講する児童もいるため、内容の幅を広げていく必要がある。今後は、ミニブックトークの実演なども取り入れていきたい。
- ☐ 見直し
- ☐ 廃 止
- ☐ 完 了

点検評価委員の評価及び意見等	☐ 良好	☒ 概ね良好	☐ 要改善
図書館体験会は、図書館への関心を高めるとともに、本に親しむきっかけになる貴重な機会になっていると考える。図書館側の負担もあると思うが、開催時期やプログラム内容のメニューの充実により、さらに多くの人が体験できるような工夫・努力を願いたい。			

1

文化遺産の保護・活用の環境づくり

【生涯学習課】

三河国分寺跡の整備とともに、古代の重要遺跡である三河国府跡の公有地化を進めます。また、三河国分尼寺跡史跡公園を始め整備の完了した史跡や文化財の活用を積極的行います。（総合計画実施計画事業）

令和6年度決算額 353,151 千円

実施状況と成果

自己評価：B

三河国府跡保存整備事業（実）

- 令和6年2月21日に国の史跡に指定された三河国府跡について、宗教法人曹源寺の所有地5筆（実測面積4,113.43㎡）の公有地化を実施するとともに、次年度の公有地化に向け合意を得た。

豊川市文化財保存活用地域計画の作成

令和6年度決算額 890 千円

- 令和5年度に作成を終えた豊川市文化財保存活用地域計画について、令和6年7月に文化庁の認定を受けた。
- 同計画について市民への周知を図るため、市内10中学校区（9か所）にて地域生涯学習講座を実施した。

文化財施設の活用

- 各文化財施設にて、町内会や小中高等学校と連携し、下記のとおりイベントを開催した。
 - 三河国分尼寺跡史跡公園：「天平ロマンの夕べ」、「五色百人一首大会」
 - 豊川海軍工廠平和公園：「折り鶴に平和の祈りを」、「専門講座」他
 - 大橋屋（旧旅籠鯉屋）：「はたごdeあそぼう！」
- 各文化財施設にて、ボランティアガイド、歴史講座、体験教室等を実施し、入館者の増加を図った。

自己評価と今後の展開

- ☐ 拡 充
 ☒ 継 続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃 止
 ☐ 完 了
- 令和6年度は史跡三河国府跡の公有地化に着手したとともに、本市の文化財行政の指針となる文化財保存地域活用計画が文化庁の認定を受けたことで、文化財の保存・活用に向けた進捗が図られた。文化財を未来に伝えていくための担い手不足が課題であり、今後は三河国府跡の公有地化を確実に進めるとともに、地域、学校、所有者等と連携した文化財の保存・活用の取り組みを継続して進める。

点検評価委員の評価及び意見等

☒ 良好
 ☐ 概ね良好
 ☐ 要改善

この地域の歴史を未来へ守り伝えていくためにも、重要な取組であると考えている。計画的な文化遺産の保護活動を評価する。今後も豊川市の歴史・文化をアピールするため、さらなる情宣活動や効果的な保存計画の策定を期待する。

6 部活動の外部講師の活用

【学校教育課】

生徒の部活動に対する意欲をより高めるため、各中学校における部活動の実情に応じて専門的な技術指導ができる地域の指導者を招き、顧問の教職員の指導を支援することで、地域との連携による部活動の活性化に取り組めます。（総合計画実施計画事業）

令和 6 年度決算額 3,717 千円

実施状況と成果

自己評価：B

部活動の外部講師の活用

- 市内10中学校に対し、運動部30名、文化部 5 名の外部指導者を配置した。
- 内訳は、運動部は 9 種目、文化部については吹奏楽部に 4 校、美術部に 1 校であった。
- 外部指導者は学校における部活動顧問となった教員が担当種目の専門性がない場合、技術指導を行うものである。部活動所属生徒からは「専門的な指導を受けることができ、自らの競技に対する技術が向上した」という声も聞かれている。顧問からも「生徒の能力や特性を掌握し、技術的な指導を行ってくれてとても助かっている」という感想がある。

【中学校部活動外部指導者の配置人数】 (人)			
	R4	R5	R6
運動部	26	26	30
文化部	3	3	5

自己評価と今後の展開

- 拡 充

☐ 継 続

☐ 見直し

☐ 廃 止

☐ 完 了

令和 6 年度については35人の枠に対し10校から36人の希望があった。引き続き、外部指導者の採用を行い、豊川市内における運動、文化的な部活動に携わる人材の確保に努める。専門的な指導を受けられることから生徒の満足度も高く、技術力向上に役立っている。また、教員にとっても省力化が図られている。今後、休日部活動を行う間は各学校の状況を考慮し、指導者の 1 回あたりの時間を 3 時間に拡充し、指導員の人員増も目指していく。

点検評価委員の評価及び意見等

☐ 良好 ☒ 概ね良好 ☐ 要改善

外部講師を活用することで、生徒の技術向上だけではなく、教師の働き方改革にも効果が出ていることを評価する。一方で、生徒が部活動を通して得られる達成感や充実感、失敗経験などの思い出づくりも大切にしてほしいと思う。今後の地域展開が、地域と中学生双方にとってより良い方向に進むことを願う。

1

老朽校舎などの計画的な整備

【庶務課】

児童生徒が安全な環境の中で、安心して学校生活を送ることができるよう、老朽化した校舎の使用目標30年程度の長寿命化を図るための大規模改修や外壁改修などの整備を計画的に進めます。（総合計画実施計画事業）

令和6年度決算額 下記のとおり

実施状況と成果

自己評価：B

校舎改修等事業 令和6年度決算額 1,019,951 千円

- 令和6年度は以下のとおり改修事業を行った。
 - 三蔵子小学校校舎改修事業（実）：
南校舎の大規模改修工事の完了
 - 小坂井中学校校舎改築等事業（実）：
基本設計の実施

【事業別決算額】 (千円)			
	R4	R5	R6
三蔵子小学校	31,108	815,662	984,562
小坂井中学校	-	6,743	35,389

校舎外壁等改修事業 令和6年度決算額 111,374 千円

- 長沢小学校の外壁等改修工事を実施した。
- 工事を実施するにあたり、学校行事や学校生活への影響が最小限になるよう、学校側と十分な調整を行い、大きな問題もなく実施することができた。

自己評価と今後の展開

- ☐ 拡 充

☒ 継 続

☐ 見直し

☐ 廃 止

☐ 完 了
- 令和6年度は三蔵子小学校南校舎の大規模改修工事を実施し、児童たちが安全安心な学校生活を送るための環境改善で成果を上げることができた。令和7年度は、一宮東部小学校の校舎外壁等改修工事及び小坂井中学校校舎改築等工事实施設計を予定している。今後も長寿命化のための大規模改修をはじめ、劣化調査に基づいた計画的な施設整備を進める。

点検評価委員の評価及び意見等

☒ 良好☐ 概ね良好☐ 要改善

学校環境は子どもたちの学習を支える基盤である。校舎をはじめとし、様々な施設で老朽化が進んでいる。予算調整を行いながら、計画的に整備を行い、子どもたちが安心して学習できる環境を整えていただきたい。

【学校給食課】

令和 6 年度決算額 下記のとおり

自己評価：B

1

スポーツ施設の整備

【スポーツ課】

市民がスポーツに親しむことができる環境を整えるため、利用案内や予約受付の充実などにより利便性を高めます。また、施設の老朽化への対応として、施設総量の適正化を踏まえた予防保全や改修、長寿命化を計画的に進めるとともに、防災拠点としての安全性の確保に取り組みます。（総合計画実施計画事業）

令和 6 年度決算額 400,686 千円

実施状況と成果

自己評価：B

体育施設費

- 施設修繕、営繕工事及び備品購入により、施設を充実させることで、利用促進を図ることができた。

○修繕料：スポーツ公園サッカー場芝生修繕 1,870千円
小坂井B&G海洋センター次亜タンク装置取替修繕 2,860千円

○工事請負費：豊川公園庭球場日よけ設置工事 17,078千円
陸上競技場出入口等改修工事 11,862千円
武道館改修工事 158,534千円（繰越明許）
総合体育館改修工事のうち建築工事 140,000千円（継続費）
総合体育館改修工事のうち機械設備工事 17,900千円（継続費）
総合体育館改修工事のうち電気設備工事 18,500千円（継続費）

○委託料：総合体育館改修工事に伴う工事監理業務委託 1,900千円

○備品購入費：超音波風速計 3,897千円

自己評価と今後の展開

- ☐ 拡 充
- ☒ 継 続
- ☐ 見直し
- ☐ 廃 止
- ☐ 完 了
- 令和 6 年度は、武道館改修工事が完了し、利用者の利便性を図ることができた。
今後も体育施設を安全で快適に利用できるよう、総合体育館大規模改修工事をはじめ、各施設の状況にあった効果的な改修や修繕、備品購入を進めていく。

点検評価委員の評価及び意見等	■ 良好	□ 概ね良好	□ 要改善
テニスコートを始めとした市内のスポーツ施設の充実が、市民のスポーツに親しむ意識向上につながると考える。計画的に改修・整備をすることで、スポーツをする人だけではなく、応援する人、観戦する人、支える人、全ての人にとってより良い施設になることを期待する。			

1

生涯学習施設の活用

【生涯学習課】

生涯学習施設の有効活用を図るため、プリオ生涯学習センターを核とする情報共有や連携、協力体制を強化し、生涯学習施設のネットワーク化を進めるほか、複合施設における関係各課・団体との連携事業を推進します。また、施設の老朽化への対応として、長寿命化や改修などを計画的に進め、利便性の向上に取り組みます。（総合計画実施計画事業）

令和 6 年度決算額 下記のとおり

実施状況と成果

自己評価：B

生涯学習センター整備事業（実）令和 6 年度決算額 151,316 千円

- 「豊川市公民館・生涯学習会館再編方針」及び「豊川市公民館営繕計画」に基づき、下記のとおり整備事業を行った。
 - 豊川生涯学習センターの改修工事を実施し、施設の長寿命化・利便性の向上を図った。
 - 御油生涯学習センター建替工事の基本設計を行い、改修工事に向けた準備を進めた。

生涯学習センターの利活用促進

- 市民に対して学習・文化活動やコミュニティ活動の場として、生涯学習センターを提供した。
- 様々なグループ・サークル活動等を通じ、仲間づくり、地域づくりに繋げることができた。

生涯学習センターの管理運営令和 6 年度決算額 8,729 千円

- 各生涯学習センターにおいて、故障した箇所
の修繕を実施した。

【主な修繕】 （千円）		
内容	施設名	金額
音羽生涯学習センター	高圧第 1 柱接地抵抗値修繕	682
	広場低圧配線修繕	649
御津生涯学習センター	ドア鍵等交換修繕	207
	駐車場舗装修繕	682
	1 階和室空調機取替修繕	3,740
	正面玄関庇防水改修修繕	935
小坂井生涯学習センター	防火戸修繕	204

自己評価と今後の展開

- ☐ 拡 充

☒ 継 続

☐ 見直し

☐ 廃 止

☐ 完 了
- 令和 6 年度は、施設の改修工事及び建替工事に向けた基本設計等を計画通りに実施するとともに、修繕を行うことで施設の利便性の向上を図ることができた。施設の老朽化に関しては、計画的な改修や修繕等の実施が必要である。今後も地域の交流の場であり生涯学習の拠点となる各生涯学習センターの利活用に資する情報提供を継続的に行うとともに、計画的に環境整備を行っていく。

点検評価委員の評価及び意見等

☐ 良好 ☒ 概ね良好 ☐ 要改善

新規施設や改修が行われた施設は人気が高い傾向がある。機能的で開放的な施設は、学びや交流の意欲も上がると思われるので、活用する市民の声を聞きながら、施設の環境整備を進めていただきたい。

1

複式編制回避に向けた小規模校の支援

【庶務課】

将来的に過小規模校への移行が見込まれる小規模校について、複式学級の編制を回避するため、学校統合や通学区域の見直し、学校選択制の導入などの取組について、地域住民などの関係者の理解と協力を得ながら、協議を進めます。

令和 6 年度決算額 —

実施状況と成果

自己評価：B

小規模特認校制度の開始

- 令和 1 0 年度に複式学級の発生が見込まれる萩小学校において、小規模特認校制度を導入した。（令和 7 年 4 月入学対象）
- 小規模特認校制度とは、少人数ならではのきめ細かな指導や地域の特性を生かした活動など特色ある教育を推進している学校に市全域から就学（新入学・転学）を認める制度であり、令和 6 年 9 月に募集を開始したところ、1 4 名の新入学・転学の申し込みがあった。申し込みのあった 1 4 名については、令和 7 年 4 月より萩小学校生として、萩小学校に通っている。

【令和 7 年度萩小学校児童数】 (人)

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計
在籍者数	7	10	9	7	12	12	57
うち校区外	4	2	1	2	2	3	14

自己評価と今後の展開

- ☐ 拡 充
- ☒ 継 続
- ☐ 見直し
- ☐ 廃 止
- ☐ 完 了
- 萩小学校における小規模特認校制度がスタートし、複式編制になる可能性は一旦回避することができた。令和 7 年度以降も継続して募集を行い、引き続き複式編制を回避していく。
- また、萩小学校だけではなく、将来的に複式編制になることが見込まれる長沢小学校をはじめとした音羽中学校区全体について、音羽中学校小中一貫教育校の導入も検討しながら、これからの学校の在り方について基本的な方針を定めていく。

点検評価委員の評価及び意見等

☒ 良好☐ 概ね良好☐ 要改善

小規模特認制度を導入したことで、複式編制を回避することができたが、今後、受け入れ側の在り方や受け入れたことで発生した問題への対応、制度を利用し転入した保護者からの反応等、様々なことを注視していく必要がある。また、萩小学校だけではなく、音羽地区全体、そして豊川市内での学校の在り方について、長期的なビジョンを持って検討を重ねてほしい。

**令和 6 年度
教育委員会事務の点検・評価報告書**

発行：令和 7 年 1 0 月

編集：豊川市教育委員会

〒441-0292

豊川市赤坂町松本 2 5 0 番地

TEL：0533-88-8032

FAX：0533-88-8038